

## 旧統一教会に建築停止を要請

東京・多摩市長 解散命令なし確定まで

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）が東京都多摩市内に所有する土地をめぐり、同市の阿部裕行市長は21日、都内の教団は昨年4月、民間会社が所有していた約6300平方㍍の土地を購入。國士館大学キャンパスや都立高校に隣接し、敷地内にはかつての建物が残つている。

市によると、教団側から20日、宿泊施設を伴う研修施設の建設を目的に、26日から解体工事に入ると通告があった。これを受けて阿部市長がこの日、勅使河原秀行・教会改革推進本部長と面会し、申入書を手渡した。教団側は工事を1週間延期するとしたが、市の申し入れについては「上層部に伝える」と答えるなどまつたという。申し入れ後に会見した阿部市長は、解散命令請求の可否を判断するため

ら20日、宿泊施設を伴う研修施設の建設を目的に、26日から解体工事に入ると通告があった。これを受けて阿部市長がこの日、勅使河原秀行・教会改革推進本部長と面会し、申入書を手渡した。教団側は工事を1週間延期するとしたが、市の申し入れについては「上層部に伝える」と答えるなどまつたという。申し入れ後に会見した阿部市長は、解散命令請求の可否を判断するため

の国の調査が続いている。しかしもに、市民から不安の声が多数寄せられている」と述べた。一方、自治体として教団の進出を止める手立てではなく、今回の要請に法的根拠がないことも強調した。

教団広報は「申し入れの趣旨を受け止め、適切に検討させていただきます」を「メント」とした。

(堀川勝元)